

実践現場から学ぶ「司法福祉入門」、待望の第2版！
社会のあり方を問う「司法福祉」とは。

第2版

司法福祉入門

非行・犯罪への対応と被害者支援

伊藤富士江 編著

A5判 定価2,100円(本体2,000円+税) 送料340円 ※定価は5%税込価格です。

- ・家庭裁判所調査官の活動や、少年警察、非行少年の矯正、更生保護等における現状と課題を、実務経験豊富な執筆陣が、具体的な事例や図表を用いて分かりやすく詳説。
- ・新たに成人矯正分野を加え、受刑者処遇の取組と課題を紹介。また、各章に新たな知見を盛り込み、法制度や統計データの最新情報を掲載。
- ・犯罪被害者の問題について、民間支援団体の活動や更生保護における被害者等施策、アメリカの取組などから多角的に論述。修復的司法の最新の動向や日本における可能性についても検討。
- ・司法分野や社会福祉に携わる第一線の実務家・研究者、また当事者による多彩なコラムが満載。カレント・トピックスを盛り込み、現場の苦労や工夫、やりがい等、生の声が伝わる内容。

第2版によせて より

『司法福祉入門』は多くの読者に支えられ、この度さらに内容を充実させて第2版を刊行することとなった。初版刊行のさいは、司法福祉について「新しい分野ですね」とか「あまり聞いたことがない」と言われることもあったが、司法と福祉のシステムの連携が求められる分野は確実に広がっている。ニーズの把握、問題解決、社会資源の活用、多機関連携といった社会福祉におけるキーワードは、司法分野においても頻繁に用いられるようになり、少年司法、刑事司法、被害者支援の現場で具体的な実践のかたちをとってきている。2000年以降、司法福祉をタイトルに入れた本は10数冊に及ぶ。

第2版では成人の矯正分野に関する章が加わり、法制度の改正を含む最近の動向を踏まえて各章の内容

を充実させ、コラムも矯正・更生保護分野や被害者支援における新たなトピックを盛り込んだ。本書の特徴としては、①現場で研鑽を積んでいる実務家・研究者の視点が活かされていること、②犯罪被害者の権利や支援策を取り上げていること、③修復的司法／正義（Restorative Justice）の可能性を論じていること、を挙げることができる。

犯罪・非行の問題は、一時関心をもったとしても距離を置き傍観的な立場をとる人がほとんどであろう。しかし、犯罪・非行についてどのように対応するか、どのように予防できるか、被害からの「回復」をどのように支援すべきかを真剣に考えていくことは、われわれ社会のあり方を問い直す作業でもある。このような作業を進めるうえで、本書は役立つものと思う。

目次

第2版よせて
はじめに

◆コラム 司法福祉学の課題と日本司法福祉学会

第一部 家庭裁判所と少年非行

第1章 少年審判の理念と少年司法を取り巻く情勢

◆コラム 非行少年の更生と少年法

◆コラム 成年後見制度と社会福祉士

第2章 少年事件における家庭裁判所の役割と家庭裁判所調査官の活動—ある傷害事件を題材に

第3章 家庭裁判所調査官から見た少年非行—事例を中心に

第二部 非行・犯罪に取り組む

第4章 警察の現場から—非行少年への立直り支援

◆コラム 被害者と加害者の対話

◆コラム 児童相談所における司法福祉機関との協働

◆コラム 児童養護施設と児童自立支援施設

第5章 少年矯正の現場から

第6章 成人矯正の現場から

◆コラム オールジャパンによる取組

◆コラム プリズン・ペット・プログラム—動物との絆がもたらすもの

第7章 更生保護とは

◆コラム 更生保護施設における処遇の流れと今後の課題

◆コラム 医療観察制度の現場から

第8章 更生保護の現場から

◆コラム 保護観察所における性犯罪者処遇プログラムの実践

◆コラム 保護司の現場から—心に残るケース—

◆コラム 社会福祉士と司法福祉の現場

第三部 犯罪被害者の支援

第9章 被害者支援の現場から

◆コラム 検事とは

◆コラム 弁護士とは

◆コラム 被害者の声は届いているか—被害者参加制度

◆コラム イギリスにおける被害者支援—Victim Supportの活動

第10章 更生保護における犯罪被害者等施策について

◆コラム 加害者の人権、被害者の人権どちらが重い?

第11章 アメリカにおける犯罪被害者支援

◆コラム 修復的司法とは何か

◆コラム Defense Initiated Victim Outreach という考え方

◆コラム 正義と平和構築センター Center for Justice and Peacebuilding—紛争をこえた健全なコミュニティを目指して

執筆者一覧

コラム執筆者一覧

索引

第2版

司法福祉入門

非行・犯罪への対応と被害者支援

執筆者一覧

第一部 第1～3章 宮下 節子 (甲府家庭裁判所都留支部 主任家庭裁判所調査官)
蔵 慎之介 (大阪家庭裁判所 家庭裁判所調査官)
楠美 絵里 (千葉家庭裁判所松戸支部 家庭裁判所調査官)

第二部 第4章 石橋 昭良 (文教大学人間科学部 准教授)
第5章 I 吉村 雅世 (八王子少年鑑別所 所長)
II 森 伸子 (多摩少年院 次長)
第6章 大橋 哲 (法務省矯正局 成人矯正課長)
第7章 高木 俊彦 (東京福祉大学心理学部 教授)
第8章 中村 秀郷 (津保護観察所 保護観察官)

第三部 第9章 森 響子 (元 公益社団法人被害者支援都民センター 相談支援室長代理)
第10章 西崎 勝則 (法務省保護局 観察課係長)
第11章 伊藤富士江 (上智大学総合人間科学部 教授)

コラム執筆者一覧 (執筆順)

前野 育三 (関西学院大学名誉教授、弁護士)
後藤 弘子 (千葉大学教授)
高野八千代 (社会福祉法人南魚沼福祉会魚野の家施設長)
山田由紀子 (弁護士、NPO 法人被害者加害者対話の会運営センター理事長)
渡辺 潤 (福島県会津児童相談所児童福祉司)
大原 天青 (上智大学大学院、会津大学短期大学部専任講師)
西江 尚人 (広島保護観察所統括保護観察官)
平山 真理 (白鷗大学法学部准教授)
相良 翔 (中央大学大学院、更生保護施設常勤職員)
馬淵 伸隆 (津保護観察所社会復帰調整官)
里見 有功 (東京保護観察所保護観察官)
土屋 邦子 (保護司)
中村 秀郷 (津保護観察所保護観察官)
熊谷 明彦 (弁護士、元検事)
安西 敦 (弁護士)
高橋 正人 (弁護士、全国犯罪被害者の会副代表幹事)
糸賀 美恵 (全国犯罪被害者の会会員)
伊藤富士江 (編者)

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール (通話料無料)
電話受付時間: 平日 9時から17時

TEL: 0120-953-431
FAX: 0120-953-495

Web URL: <http://gyosei.jp>

キリトリ線

司法福祉入門 第2版 非行・犯罪への対応と被害者支援

部

A5判・定価2,100円 (本体2,000円+税) 送料340円 ※定価は5%税込価格です。
コード 5300203-00-000 (上智) 司法福祉2版

◎上記のとおり申し込みます。

平成 年 月 日

御住所 (〒 -)

[社費・公費・私費]

フリガナ
御氏名



TEL

e-mail

新刊情報を (希望する / 希望しない)

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。

●取扱者



株式会社 ぎょうせい

本社 東京都中央区銀座7-4-12 〒104-0061
本部 東京都江東区新木場1-18-11 〒136-8575
TEL 0120-953-431 FAX 0120-953-495

URL: <http://gyosei.jp>

(H25.3)

ISBN978-4-324-09629-1 コード 5300203-00-000 (上智) 司法福祉2版